

事 務 連 絡
平成25年7月19日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校担当課 御中
附属学校を置く国立大学法人事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

放射線に関する教育職員セミナー実施事業について

関係各位におかれては、日頃から初等中等教育の充実のため御尽力いただき誠にありがとうございます。

東日本大震災での原子力災害を受け、関係法令等において、児童生徒等の放射線に関する理解を増進することが定められたところであり、学校教育の中で、児童生徒等が放射線に関する知識を正しく理解することが求められています。

文部科学省としては、このような状況を踏まえ、児童生徒等が放射線に関する科学的な知識を身に付け、理解を深める一助とするため、教員等を対象とした放射線に関するセミナー実施事業を行います。

ついては、標記事業の実施をご希望の場合には、添付の申込み用紙に必要事項をご記入の上、担当事務局へ申込みいただきますようお願いいたします。

また、域内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等にも周知いただきますよう併せてお願いいたします。

なお、別途担当事務局である東京学芸大学からも依頼があることを申し添えます。

< 本件連絡先 >

文部科学省初等中等教育局教育課程課

教育課程第二係（西尾、渡辺、部屋）

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-5253-4111（内線2613）

FAX 03-6734-3734

E-mail kyoiku@mext.go.jp

「正しく理解する放射線」教職員セミナー 開催のご案内

開催の趣旨

平成23年3月11日の東日本大震災に伴って発生した東京電力福島第一原発事故により、食品への不安や被災地からの瓦礫受け入れ拒否等の社会問題があり、農水産物への風評被害は今も続いています。幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で、子どもたちが、放射線について科学的根拠に基づいて正しく理解し、判断できる力を身につける環境を整備するため、教育職員及び教育行政に関わる地方公共団体職員等を対象に、文部科学省の委託を受けて「正しく理解する放射線」教職員セミナーを下記の内容で開催いたしますので、ふるってご参加の程よろしくお願ひ申し上げます。 平成25年7月 東京学芸大学理科教員高度支援センター内「全国放射線教育推進会議」

開催の概要

1. 参加対象者と人数

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・都道府県及び市区町村教育委員会及び理科を中心とする教育研究会の教職員を対象とします。セミナーの人数は、放射線測定実験などを考慮して1回当たり20人程度を予定しております(応相談)。

2. 開催期間・開催日時・場所

開催期間は、平成25年7月から平成26年3月までとします。開催日時と場所については、幼稚園・学校・教育委員会・教育研究会などのご希望に合わせて調整いたします。開催場所は、幼稚園・学校(理科室・教室)、教育センター、大学(国公立大学・教育大学・私立大学)などを予定しております。

3. 研修コース

「放射線入門」 主に幼稚園・小学校・特別支援学校・教育委員会、教育研究会の教職員を対象とします。

「放射線の基礎」 主に中学校・高等学校・特別支援学校・教育委員会、教育研究会の教職員を対象とします。

4. 研修カリキュラム

- ① 放射線に関する講義 放射線入門又は基礎
- ② 放射線測定実験 はかるくん等による放射線の測定、霧箱観察実験など
- ③ 参加者による討議 講師への質疑及び参加者によるわかりやすい授業づくりについて議論します。

5. 研修時間

学校又は教育委員会、教育研究会のご希望により、1時間又は4時間のコースとします。

6. 講師

国公立大学、教育大学、私立大学、公的機関(日本アイソトープ協会、科学館など)の教授、放射線の専門家などが講師を務めて、放射線についてわかりやすく説明します。

7. 費用

参加費用は無料です。ただし、会場までの交通費は各自の負担でお願いします。

8. テキスト

講義と実験のテキストは事務局で準備しますが、文部科学省から配布済みの「放射線副読本」をご持参ください。(放射線副読本の掲載アドレス http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/attach/1313004.htm)




セミナーについてのご質問やご相談につきましては、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

東京学芸大学理科教員高度支援センター内「全国放射線教育推進会議」事務局長 長谷川 正

電話/FAX 042-329-7496 メールアドレス rascest@u-gakugei.ac.jp

研修カリキュラム

研修カリキュラムにつきましては、ご希望により内容の調整をいたします。

1. 放射線に関する講義	2. 放射線測定実験	3. 参加者による討議
<p>講義の内容</p> <p>1. 放射線入門又は基礎について</p> <p>2. 大学教授・公的機関の放射線の専門家等がわかりやすく講義します。</p> 	<p>実験の内容</p> <p>1. GM サーベイメータ、はかるくん等による放射線の測定</p> <p>2. γ線の測定、距離実験、遮蔽効果測定</p> <p>3. 霧箱で放射線の飛跡の観察などの実験を行ないます。</p> 	<p>討議の内容</p> <p>1. 講師への質疑、わかりやすい授業づくりについて議論します。</p> <p>2. 研修会参加者は、事前資料を準備いただきます。</p> <p>3. 放射線副読本を活用します。</p> 

研 修 コ ー ス

放射線入門	<p>①放射線って、何だろう？</p> <p>②放射線は、どのように使われているの？</p> <p>③放射線を出すものって、何だろう？</p>	<p>④放射線を受けると、どうなるの？</p> <p>⑤放射線は、どうやって測るの？</p> <p>⑥放射線から身を守るには？</p> <p>「小学生のための放射線副読本」より</p>
放射線の基礎	<p>① 不思議な放射線の世界</p> <p>② 太古の昔から自然界に存在する放射線</p> <p>③ 放射線とは</p> <p>④ 放射線の基礎知識</p> <p>⑤ 色々な放射線測定器</p>	<p>⑥放射線・放射能の歴史</p> <p>⑦放射線による影響</p> <p>⑧暮らしや産業での放射線利用</p> <p>⑨放射線の管理・防護</p> <p>「中学生のための放射線副読本」より</p>

全国放射線教育推進会議について

全国放射線教育推進会議は、「正しく理解する放射線」教育を全国に広めるため、東京学芸大学理科教員高度支援センターと全国の国公立大学・教育大学・私立大学・公的機関が連携する会議です。同会議と連携する大学等の教授・講師陣が放射線の講義と実験の指導にあたります。全国の小学校・中学校・高等学校の理科教育研究会にも参加を依頼しております。

議長	鷲山 恭彦	前東京学芸大学長、奈良教育大学 理事
委員	長谷川 正	東京学芸大学理科教員高度支援センター長 教授
	鎌田 正裕	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 教授
	中西 友子	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
	石井 慶造	東北大学大学院工学研究科学 量子エネルギー工学専攻 教授
	戸崎 充男	京都大学放射性同位元素総合センター 准教授
	小倉 康	埼玉大学教育学部 准教授
	須藤 幸雄	日本アイソトープ協会 放射線教育プロジェクトチーム主査

平成25年度 文部科学省委託事業

「正しく理解する放射線」教職員セミナー 申込書

宛先

東京学芸大学理科教員高度支援センター内 「全国放射線教育推進会議」事務局
事務局長 長谷川 正
電話/FAX 042-329-7496
メール rascest@u-gakugei.ac.jp

セミナーの申込みについては、申込書に開催希望日、開催場所、団体名又は学校名などをご記入いただき、上記の連絡先に FAX 又はメールでお送りください。
事務局からご担当者様にご連絡させていただき、日時、コース、カリキュラムの内容などについて調整させていただきます。

開催希望日時	第1希望 年 月 日 () ~ 第2希望 年 月 日 () ~
開催場所	
団体名又は学校名	
(ふりがな) ご担当者氏名	
住 所	〒
電話/FAX 番号	電話番号 FAX 番号
メールアドレス	@
参加人数	名
ご希望のコース	<input type="checkbox"/> 放射線入門 <input type="checkbox"/> 放射線の基礎 (どちらかにチェックしてください)
ご希望の時間	<input type="checkbox"/> 1時間コース <input type="checkbox"/> 4時間コース (どちらかにチェックしてください)

* ご記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。

* 東京学芸大学理科教員高度支援センターのホームページ

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~ascest/>

から「正しく理解する放射線教育」のバナーをクリックしていただくと、詳細をご覧いただけます。